



株式会社 翠雲堂
代表取締役社長

山口 豊

東京都出身。(株)翠雲堂を創業し、社寺建築と仏具製作を手がける祖父と父親の背中を見て育つ。大学時代の欧州旅行で西洋芸術の素晴らしさに感動すると同時に、日本の伝統文化、仏教美術の奥深さを改めて認識し、家業に入ることを選択。卒業後は繊維卸会社で社会経験を積み、程なくして家業へ戻る。2012年に5代目社長に就任し、さらにレベルの高い建築を実現すべく体制強化を続けている。

唯一無二の仕事で“本物”だけを後世に残す 社寺建築・寺院仏具のプロフェッショナル

1937年の創業以来、80年以上にわたり質の高い仏具製作、社寺建築を手がけてきた(株)翠雲堂。5代目社長の山口氏は伝統技術を守りつつ、さらなる高みを目指して攻めの経営を貫いている。「本物を追求する」という同氏の強い信念に、女優の宮地真緒さんが迫った。

変化を恐れず改革に着手

宮地 こちらは戦前から仏具や社寺の建築に携わり続けていらっしゃる老舗企業でしょうか。まずは、山口社長の歩みからお聞かせください。

山口 私は幼少期から創業者である祖父や父の背中を見て育ったんです。とはいえ、家業を継ぐんだと強く意識はしていませんでした。転機となったのは、大学時代の欧州旅行。西洋の建物の歴史に触れた際に、「日本にもこれに負けない歴史や、仏教美術の奥深さがあるんだ」と強く認識したんです。

宮地 なるほど。海外文化に触れたことが、日本の伝統芸術の素晴らしさを再認識するきっかけになったのですね。

山口 はい。折しも当時2代目社長を務めていた父が優秀な大工を集めて本格的に社寺建築へ乗り出しており、私にも「手伝ってほしい」と打診があったんです。ただ卒業後は、一度社会経験を積むべく繊維卸会社に入社して仕事のいろはを学ぶことにしました。その後家業へ戻り、現場で経験を積みながら、少しずつ地位を築き上げ、2012年に代表取締役社長に就任しました。

宮地 後を継がれるタイミングはどのようにして訪れたのでしょうか？

山口 先代が高齢になったこともあり、私が事業を引き継ぐことになりました。当時は建築ブームが訪れていて、会社としての在り方を今一度考えなければならなかったタイミングでした。そこで私は、

現状を維持しているだけでは前へ進めないと思い、すべての分野で仕事のレベルをもう1段上へ引き上げるべく、改革に着手しました。

宮地 老舗の看板を守られる立場で、あえて改革に乗り出すところに、社長の経営者としての手腕を感じます。どのような取り組みをされたのでしょうか？

山口 まずは、建築部門で現場を指揮できる人間をそろえるために、腕利きの職人や一級建築士などを雇用し、少数精鋭の体制を整えました。さらに、社寺建築に欠かせないヒバ材の産地である青森に新しく工場を建て、常に上質な木材を確保できるようにしたんです。こうして、社寺の設計施工から仏具一式に至るまでのすべてを一貫対応できる基盤ができ上がり、オンリーワンかつナンバーワンの企業へと成長させることができました。

本物を手がける誇りを持って

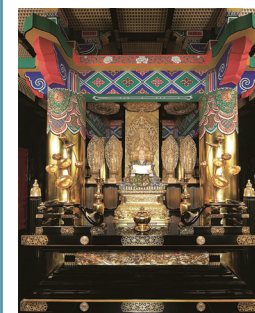
宮地 では、仕事に臨まれるうえで、大切にされていることを教えてください。

山口 決して手を抜くことなく、質の高い施工をしていこう、とスタッフたちとは常に共有しています。当たり前のように聞こえることではあるものの、これに本気で取り組むのは簡単ではありません。例えば、お客様の多くは、複数の建築企業に見積もりを依頼されます。その際には、「同じ条件でうちならもっと安くします」という価格競争が発生することが多いんですよ。しかし、建築に必要



Focus on the topic

社寺建築（新築・修復）への夢を実現する株式会社 翠雲堂



▲ 総本山身延山久遠寺様 / 日蓮宗 / 山梨県南巨摩郡 / 五重塔荘厳具【写真左】。宝光寺様 / 曹洞宗 / 東京西多摩郡 / 鹿野大仏【写真中央】。大本山 護国寺別院筑波山 大御堂様 / 真言宗豊山派 / 茨城県つくば市 / 本堂【写真右上】・本堂内陣荘厳具【写真右下】

な材料コストや労力は変わらないわけですから、実は同じ条件で安くするという行為には無理があるんです。

宮地 確かにまったく同じ条件で安くなると言うのは不自然ですね。

山口 ええ。無理をして安くすれば当然、どこかの工程の質に綻びが生じます。当社はそのようなことがないようにするために、お見積りの際に安直な値引きは決して行わないようにしています。その代わりに、お客様のご要望や予算にはしっかりと向き合い、柔軟なご提案をさせていただくようにしているんです。

宮地 誠実な対応を重んじていらっしゃる、と。ここまでお話をうかがっていると、社長が誰よりもこのお仕事に強いこだわりと誇りを抱いていらっしゃる様子が伝わってきました。

山口 私は、お客様から「ぜひ翠雲堂にお願いしたい」と指名で依頼していただ

けると、嬉しい気持ちになると同時に、期待に応えなければと身が引き締まるんです。だからこそ、こだわりを持って仕事と向き合っています。

宮地 この先も、伝統を守りながらさらに飛躍を続けていくことだと思います。最後に、会社としての今後のビジョンについてもお聞かせいただけますか？

山口 これまで通り、現状に満足することなく、ますます仕事の内容を濃くしていきたいと考えています。2020年には、5年をかけてつくり上げた筑波山大御堂の本堂が完成しました。全体の設計施工から仏具や細部の装飾までを請け負わせていただいたので、大きな達成感を味わいながらも、次はそれ以上のものを手がけたい、とすでに気持ちは前を向いているんです。これからも、時間が経てば経つほど価値が高まる本物の建築物を残すべく、努力してまいります。

Guest Comment>>

宮地 真緒（女優）

オンリーワンの存在を目指して挑戦し続けていらっしゃる山口社長。一つひとつの仕事にこだわりを持ち、共に働く仲間皆さんともその意識を共有して素晴らしい建築物をつくり上げていらっしゃいます。これまで積み上げてこられた組織の歴史を生かして、今後も質の高い本物の建築物をつくり続けてください。

